

高等学校・中学校の剣道部指導者 90 名が 指導者としての技能・資質を稽古で学ぶ

第 49 回全国高等学校・中学校剣道（部活動）指導者研修会



第 49 回全国高等学校・中学校剣道（部活動）指導者研修会（主催＝日本武道館、公益財団法人全日本剣道連盟、公益財団法人全国高等学校体育連盟剣道専門部、公益財団法人日本中学校体育連盟剣道競技部 後援＝スポーツ庁、全国都道府県教育長協議会、全国市町村教育委員会連合会、千葉県教育委員会）が 10 月 11～13 日の日程で、会場の日本武道館研修センターに 90 名の参加者が集まって実施された。

実技研修では、参加者は高段位の講師陣の胸を借りて稽古を行い、技能はもとより指導者としての姿勢・態度を肌で学んだ。また、特別講師による食生活についての講義や、審判法の講習なども実施された。

◇実施内容

1 日目：教養講座「心技体を育み支える基本的な生活習慣と食生活」（山根武司）

実技指導法（山中洋介）

実技研修（谷勝彦）

2 日目：朝稽古

日本剣道形・木刀による剣道基本技稽古法（谷勝彦・井上孝）

審判法（松田勇人）

実技研修（谷勝彦）

体罰防止研修・情報交換会（土崎祐一郎）

3 日目：朝稽古

実技指導法（山中洋介）

実技研修（谷勝彦）

◇講師一覧

・特別講師

山根 武司（有限会社シーエフ スポーツ事業部 アドバイザー）

・講師

谷 勝彦（慶應義塾体育会剣道部師範、全日本剣道連盟社会体育担当常任理事、全日本剣道連盟社会体育指導員委員会委員長、群馬県学校剣道連盟会長）

松田 勇人（全日本剣道連盟常任理事・指導委員会委員長、奈良県剣道連盟副会長兼専務理事、奈良市中央武道場剣道講師、大阪修道館剣道講師）

山中 洋介（全日本剣道連盟評議員、鳥取県剣道連盟副会長、鳥取県立武道館館長）

本名 和彦（全日本剣道連盟試合・審判委員、茨城県剣道連盟常任理事茨城県学校剣道連盟会長、茨城県高等学校剣道専門部副部長、科学技術学園日立）

中島 博昭（全日本剣道連盟社会体育指導員委員会委員、東京都立小松川高等学校部活動指導員、千葉商科大学剣道部師範、日本武道館武道学園講師）

輕米 良臣（全日本剣道連盟評議員、千葉県剣道連盟副会長兼専務理事、全国高等学校体育連盟剣道専門部相談役）

藤原 昌史（一般財団法人長崎県剣道連盟理事長、全国高等学校体育連盟剣道専門部元副部長）

高村 克人（全日本剣道連盟社会体育指導員委員会委員、兵庫県剣道連盟審議員、兵庫県学校剣道連盟会長、加古川市剣道連盟会長、全国高等学校体育連盟剣道専門部元副部長）

原 義克（立教新座中学校・高等学校教諭、立教大学体育会剣道部師範）

湯澤 寛（秋田県剣道連盟理事長、全日本学校剣道連盟理事、秋田県総合教育センター スーパーアドバイザー）

今里 学（全国高等学校体育連盟剣道専門部副部長、神奈川県立荏田高等学校総括教諭）

玉田 晋作（全国高等学校体育連盟剣道専門部副部長、徳島文理高等学校教諭）

土崎祐一郎（全国高等学校体育連盟剣道専門部部長、東京都立豊多摩高等学校副校長）

井上 孝（全日本学校剣道連盟理事、香川県剣道連盟常任理事）

茂木 良文（群馬県太田市立城東中学校校長）

石原 一幸（群馬県剣道連盟強化委員長、前橋市立木瀬中学校教諭）

前川 勝（私立浅野中学校・高等学校教諭、神奈川県高体連剣道専門部副部長、神奈川県学校剣道連盟理事長、神奈川区剣道連盟副会長兼理事長）

山下 克久（日本中学校体育連盟剣道競技部長、全日本学校剣道連盟理事、茨城県阿見町立朝日中学校校長）

・助講師

植木 伸広（全国高等学校体育連盟剣道専門部専門委員長、東京都立小金井北高等学校主幹教諭）

森下 将臣（全国高等学校体育連盟剣道専門部事務局長、東京都立日比谷高等学校主任教諭）

秋澤 風作（栃木県立黒磯高等学校教諭）

岩井 京介（東京都立忍岡高等学校教諭）

木村 孝治（東京都中学校体育連盟剣道競技専門部部長、日野市立大坂上中学校副校長）

山嵩 龍一（東京都中学校体育連盟剣道競技専門部副部長、江戸川区立東葛西中学校主幹教諭）

吉永 哲男（東京都中学校体育連盟剣道競技専門部調査研究部副部長、穎明館中学校教諭）

研修会の模様①



「教養講座：心技体を育み支える
基本的な生活習慣と食生活」
適切なお弁当の量について講師が提示



「実技指導法」(1日目)
礼法や構えなどの基本動作を確認し、
しきけ技へつなげる



「実技研修」(1日目)
高段位の講師との稽古を行う



「朝稽古」(2日目)
早朝6時から講師・八段受講生による
元立ち指導稽古を行う



「日本剣道形」
日本剣道形の手本を披露する谷講師



「木刀による剣道基本技稽古法」
参加者同士で形の確認をし、助言をする

研修会の模様②



「審判法」
審判旗の掲げ方を確認する



「審判法」
試合形式での審判練習を実施
判定はどうなるか、講師が参加者に問う



「実技研修」（2日目）
講師に挨拶をし、稽古に対する助言をもらう



「体罰防止研修・情報交換会」
どのようにしたら新規の部員を
呼び込めるか、情報をグループで共有



「実技指導法」（3日目）
参加者の稽古を見て
気になった点を講師が解説する



「実技研修」（3日目）
講師の稽古講評に耳を傾ける

令和7年度参加者感想（抜粋）



剣道指導者としての心構えや姿勢、態度などを改めて考えさせられました。各都道府県の先生方と交流をし、各地の現状や苦労されていることを話しました。皆、同じ思いをしながら、日々試行錯誤して子どもたちと向き合っているのだと感じました。また、苦労の中でも指導者としての喜びを共有することができました。

講師の先生方が熱心かつ丁寧に分かりやすくご指導してください、とても充実した日々を過ごせました。研修を通して、指導するにあたり、まずは自分がよき手本になること、自身の研鑽を積むことで指導の質が高まり、言葉や技術にも説得力が増していくことを学びました。また先生方の素晴らしいお人柄にも触れ、私自身も先生のように生徒一人ひとりに熱く本気で向き合い、よき方向へと導ける指導者を目指したいと思います。



全国から集まった指導者の皆様と共に、様々な視点から剣道を学ぶことができ大変貴重な経験になりました。特に充実していたのは、八段の先生方や全国各地の受講生教員の先生方との稽古です。直接肌で感じる高い技量と熱意に圧倒されつつ、剣道の本質を肌で学ぶことができました。この稽古の中で心に深く響いたのが、「打って勝つのではなく勝って打て」というご指導の言葉です。この言葉は、単に打突の技術を磨くだけでなく、相手を凌駕する気迫、攻め合いを制する理合なのだと感じました。剣道を通じて人間形成を教えるという、指導者としての教育的役割の重みを改めて認識することができました。

指導をする上での課題はもちろんですが、生徒の体づくりにも悩んでいたところ、研修の1番最初に教養講座で生活習慣と食生活について知ることができよかったです。毎食のカロリーを1200キロカロリー以上摂取できるように食事指導を行うとともに、コルチゾールの分泌を意識した指導を心がけたいです。



今回の研修会に参加し、改めて「教える」ということの奥深さを感じました。技術指導だけでなく、礼法や心構えを通して人間形成を目指すのが剣道であるという講師の先生の言葉が心に残りました。実技では、基本動作の一つ一つに指導の意図を持たせることの大切さを学び、普段の稽古で何気なく行っていた動作を見直すきっかけとなりました。また、講師の先生方と数多く稽古ができたこと、受講者同士の意見交換を通して、交流を深められたことも貴重な経験でした。今後は、今回学んだ内容を自分の剣道の成長につなげ、また子供達の指導に生かして行きたいと思います。